

おき

411' + 8



【史料カード】

資料番号	2557
所属機関	伊藤忠財団蔵
取得年月	2557 2557
種別	書翰(99%) 日記(1%) [999年]
年代	
地域	
言語	/
キーワード	沖合 船跡
備考	
写真撮影	
備考	
備考	

珠大圖書館

弘文堂花札重訂序

天保三年癸亥三月七日

第十一

新撰集

新撰集

一 あはれあはれとて

あはれあはれとて

二 あはれあはれとて

一 あはれあはれとて

あはれあはれとて

二 あはれあはれとて

一 あはれあはれとて

Handwritten musical notation on the left page, consisting of several staves of notes and rests.

Handwritten musical notation on the right page, consisting of several staves of notes and rests.

あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて

あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて
あはれなる心にて

清和天皇御宇
丁酉年八月廿九日

人々を以てあつたて奉りて
一 為す所をあらわして

いかにしむべき事
あはれなるのまゝに

人々を以てあつたて奉りて
一 為す所をあらわして

いかにしむべき事
あはれなるのまゝに

いかにしむべき事
あはれなるのまゝに

人々を以てあつたて奉りて
一 為す所をあらわして

いかにしむべき事
あはれなるのまゝに

いかにしむべき事
あはれなるのまゝに

人々を以てあつたて奉りて
一 為す所をあらわして

一 思ふに 世の事 無常なるを 悟りて

心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

べし といふ こと あり しかば

二 心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

べし といふ こと あり しかば

三 心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

べし といふ こと あり しかば

一 心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

べし といふ こと あり しかば

二 心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

べし といふ こと あり しかば

三 心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

べし といふ こと あり しかば

四 心 静かに ありて 生死の 輪を 断つ

あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心

正徳十二年十一月廿七日

あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心
あはれなる御心

ふあらしおそいさやふさうしを
ひかしくかききききき
ふおさやかきききききき
ひかしくかききききき
ふあらしおそいさやふさうしを
ひかしくかききききき
ふけしききききききき

くあらしおそいさやふさうしを
ふあらしおそいさやふさうしを
附の事あまきききききき
ふあらしおそいさやふさうしを
ふあらしおそいさやふさうしを
ふあらしおそいさやふさうしを

又のあらしおそいさやふさうしを
嘉靖二年二月甲子日

天はまのあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな

あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな

あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな
あんなあんな

Handwritten musical notation on the right page of an open manuscript. The notation consists of several staves of music written in a cursive style. Red ink is used for certain notes and stems, likely indicating specific rhythmic values or accidentals. The notation is dense and fills most of the page.

Handwritten musical notation on the left page of an open manuscript. The notation consists of several staves of music written in a cursive style. Red ink is used for certain notes and stems, likely indicating specific rhythmic values or accidentals. The notation is dense and fills most of the page.

